作成日	2025年　2月　26日

ピース八尾支店　支援プログラム

法人理念	「社会で必要な自活力を身に付ける」①自活力　②思いやり・理解力　③最低限の学力		
支援方針	5領域を含めた総合的な療育を行い、法人理念に掲げる「自活力、思いやり・理解力、生きていくに必要な最低限の学力」を、 リトミックをメインとした様々な集団療育活動で楽しく学び身に付けられるようサポートします。		
営業時間	（月～土）　午前9時～午後17時　　（祝祭日）　午前9時～午後17時	送迎実施の有無：	有り

プログラム	支援内容（5領域）				
	【健康・生活】	【運動・感覚】	【認知・行動】	【言語・コミュニケーション】	【人間性・社会性】
リトミック	歌ったり色んな身体の部位を動かすことでストレス発散・基礎身体能力の維持・向上を図ります	楽器や道具を使った音楽遊びを通して、視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用していきます。	即時反応を促す活動により、知覚から行動への認知過程の発達をサポートします。	ジェスチャーや楽器等でノンバーバルなコミュニケーションを他者と交わすことで、表現力や受容言語・表出言語の練習をサポートします。	色んな楽器や道具を身の回りの物に見立てて活動することで感覚遊びと象徴遊びを同時に体験し、発想力・想像力を養います。
SST	病気予防の知識等健康管理、安全のためのルール等生活習慣などのスキルを身に付け、日常生活や社会生活を営む訓練を行います。	視覚・聴覚に訴える活動（ゲーム遊び・指示出しゲーム等）を通して体を動かしながら感覚処理や運動能力を身に付ける。	しっかり話を聞くロールプレイ、シミュレーション、ゲームなどを通して、空間認識など頭の中での情報整理や、色・形・数など実際の生活に結びつけて、状況理解できる力、考え行動できる力を身に付けていく。	場面に応じた会話の練習、表情の理解を深めるトレーニング等、実際の場面を想定してのロールプレイやゲームなどでのグループ活動を行うことで、他者とのコミュニケーションを図る。	いろんな場面のロールプレイングを経験することで、自己理解と気持ちや情動のコントロールができるようにサポートします。
コグトレ	衣服等の着脱、お箸や文房具の使い方、身だしなみやトイトレなど、生活にまつわる動きが出来るように普段の生活に必要な手指のトレーニング及び力加減を学び、体の不器用さを訓練し、生活リズムや身の回りの管理などの向上を図ります。	バランス運動、協調運動、全身を使った運動、指先や手首などの微細運動訓練を行うことでボディイメージを高め体の使い方の不器用さを改善します。	ビジョントレーニングで視覚を、聞いて覚えるトレーニングで聴覚や記憶力を、ゲームなどで成功体験を積むことで注意力などの認知機能の向上を図ります。	日常生活で必要な文字や言葉の認識が深まる練習や、記憶力を活用した練習、推測して答える練習などを他者と交わりながら行うことでコミュニケーション能力を養います。	複数人で行う活動をすることで集団参加を促します。認知機能を高めることで自己理解や人間関係を円滑にするスキルを養います。
机上課題	色・形・大小などを学ぶことで日常生活に必要な知識や概念を学びます。絵本などのイラストを用いて、個々に必要な知識（睡眠、食事、トイレ等）を学ぶ機会を提供します。一定時間机に向かうことで学校などでの基本動作を身に付けます。	鉛筆や消しゴムを上手く使う為の指先訓練や、迷路やパズルなどの視覚訓練等を行い、触覚も含めた感覚を活用する時間を提供します。	数、色、形、大小の違いなど基礎概念理解を目的とした課題を行い、記憶力、注意力、集中力等の向上も図ります。	ことばのプリント絵カード学習を繰り返し行うことで、読み書き能力、日常生活に必要なと物と言葉が紐づくよう言語の習得をサポートします。課題の際の質問等で表出言語を増やすサポートをします。	他者への質問やなぞり書き等で模倣行動を学んだり、読み聞かせで気持ちや感情について学び、プリント課題をこなしながら褒められたり励まされたりする中で、集団参加できていることを感じられるようサポートします。達成感を感じることで自己肯定感のアップにも繋げます。
外出	外で思いっきり体を動かし体力の向上を図り、初めての場所でも清潔な食事や排せつなどが出来るようサポートします。お出かけ先で怪我などしないよう安全に配慮することで、心身の健康状態の維持に努めます。	個々のレベルに合った外遊び（遊具や運動）に挑戦することで、運動能力を鍛え、感覚統合を促します。公園等での粗大運動・微細運動等も促し、体力維持・移動能力の向上を目指します。	屋外活動により子ども自身の考える力や行動のコントロール（あと〇分で帰る等の時間の概念の体感や、外出時に必要なルール、等）を学んでもらいます。	公園での順番待ちやルールある遊び、施設等での他者との関わりなどを通して、普段他児との関わりが少ない児童も他者と話す機会を提供し、コミュニケーション能力向上を目指します。怪我や体調不良などを大人に伝えていく練習もします。	色んな外出活動や外遊びを通じて人や環境との関わり方を学び、スタッフとだけでなく他児とも遊ぶことで集団に入っていく練習をします。小さな成功体験の積み重ねで自信を育みます。
クッキング	食への興味を持ち、楽しく食事が出来たという思い出を作っていき、手洗い/消毒/マスク着用など清潔を保つことで身体的な健康状態を意識し、生活スキルを獲得すりょうに支援します。	包丁・食ばさみ・ピーラー・トングスなど、いろんな料理道具で切る/混ぜるなどを行うことで手指の器用さの向上を図ります。手袋に慣れ、着用することで触れる物が増えるなど、感覚過敏にも働きかけていきます。	視覚・聴覚・触覚を活用し材料の準備や手順などのステップを通して記憶力の強化や数や量などの認知の習得に努めます。また色んな料理やおやつを食べることで偏食を減らす支援をします。	食材や工程などで使う動詞・形容詞などの語彙力向上、異年齢層の関わりの中で順番や譲り合いの学び、役割分担で一つの物を完成させる相互作用、等を学び、コミュニケーションの大切さの理解を促します。	皆で同じ物を作ることで、役割分担や協力する姿勢を学び、社会性や対人関係の芽生えをサポートします。
英語	アルファベットや単語の発音を行うことで日本語の会話とは違う「発声」のリハビリを行います。多言語を学ぶことで脳が活性化し、記憶力を鍛え、色んな人がいる社会生活について考える機会を提供します。	直線を多用する大文字のアルファベットを書き慣れることで指先の運筆動作能力を訓練します。また普段聞きなれないアルファベットを見たり聞いたりすることで視覚や聴覚の感覚を活用していきます。	アルファベットを視覚的・聴覚的に学ぶことで感覚や認知の活用を促し、記憶力やワーキングメモリの向上を図ります。また、何気なく使っている言葉も英語だと知ることで、情報の認知も向上します。	アルファベットや単語を模倣することで発声する機会を持ちます。日本語以外の表出言語を学び、他国への興味を促し、様々な人々とのコミュニケーションに意識を向けてもらうサポートをします。	単語を言い真似る模倣を繰り返すことで、自己表現の幅を広げ、色んな人々を関わろうとする社会性や人間性の向上をサポートします。
ダンス	普段しない上下肢の動きをすることで間接の拘縮予防、筋力維持、身体能力の向上を促していきます。	踊る際に必要とされる、ダンスのお手本をしっかり見る視覚の活用、全身運動、バランス感覚、柔軟さ、リズム感、体幹力といった、体の使い方を学べるようサポートします。	動きを模倣したり、他児とぶつからない距離感を意識したり、音楽に合わせて体を動かす意識をすることで、視覚・聴覚・空間認知を刺激し、知覚から行動への認知過程の発達を促します。	動きやジェスチャーでの非言語コミュニケーションに触れることで、一人ではない楽しさや指示理解力の向上などを体感してもらいます。	ダンスの見本を見て回りと同じ動きをすることで、集団で行動するスキルを見に付け、社会性や対人関係の芽生えを感じてもらいます。
美術/製作	細かい製作作業をすることで手先の不器用さの改善を図り、季節感ある製作をすることで視覚的刺激を受け、認知力がアップし、脳の活性化に繋げます。	色んな文房具の扱い方や、それに必要な力加減を学び、紙を千切るなどの手指の器用さの向上を図ります。お手本や他児の作品を見ることで視覚的刺激による感覚の発達や空間認知力の向上を図ります。	色の違いが識別できるサポートをしたり、説明を聞き作業することで記憶力や認知の発達をサポートしたり、見本通りに作ったりすることで、視覚や触覚の感覚活用を図ります。また参考イラストからアイデアを得たり自由なテーマで創作することで、計画的な行動力を身に付けます。	作品について自分の思いを伝えたり、作成過程についての考えを他者と共有することで語彙力の向上を目指します。また、話し言葉だけではない意思の伝達・表出言語を作品を通して発信していけるようサポートします。	他児の作風に感化されることで模倣したり、そこから自分のオリジナリティを見つけたりしていくことで、自己理解・他者理解を経験していきます。グループで１つの作品を作ることで集団の中でどのように行動すべきか、人との関係を意識し安定した関係を形成する支援を行います。

家族支援	ご家族の預かりニーズ、兄弟間のトラブル相談、愛着行動の形成など、ご利用児様とご家族様との間に起こる様々な問題やニーズに関し、相談応対および連携を図っていきます。
移行支援	公園外出の場合には地域の児童と遊ぶ機会を持ち、施設イベントにはご兄弟やお友だちを招待することで、地域交流を図ります。施設内では異年齢層の関わりだけでなく、同年代の児童との関わりを推し進めることで、園や学校でのお友だちと上手に関われる人間力を育みます。
地域支援・地域連携	相談支援事業所と連携を図り、担当者会議等を開催していき、より良い療育/支援提供に努めます。 必要に応じて園や学校送迎時に聞き取った申し送り等を他職員やご家族様と共有していきます。
職員の質の向上	府や市が提供している研修だけでなく、民間業者等が開催する講演・セミナー・様々なメディアによる研修等にスタッフが受講できるようシフト等の配慮をし、職員の質の向上に努めます。
主な行事等	季節のイベント（初詣・豆まき・お花見・夏祭り・水遊び・ハロウィン・紅葉狩り・クリスマス等） 公共施設への社会見学・食育やSSTを含めた外食活動、避難訓練（近隣避難指定場所への避難訓練・防災センターでの体験学習等）